

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月12日 (2018.7.12)

【公表番号】特表2017-504046(P2017-504046A)

【公表日】平成29年2月2日 (2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-005

【出願番号】特願2016-515480(P2016-515480)

【国際特許分類】

G 0 9 F 3/03 (2006.01)

B 3 2 B 7/04 (2006.01)

B 3 2 B 9/00 (2006.01)

B 3 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 9 F 3/02 (2006.01)

G 0 9 F 3/00 (2006.01)

B 4 2 D 25/30 (2014.01)

【 F I 】

G 0 9 F 3/03 E

B 3 2 B 7/04

B 3 2 B 9/00 A

B 3 2 B 7/02 1 0 3

G 0 9 F 3/02 C

G 0 9 F 3/00 M

G 0 9 F 3/02 G

B 4 2 D 15/10 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年5月31日 (2018.5.31)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 6 】

それ故、本発明の対象は、支持基材（１）を有し、該基材はその片面上に、金属クラスターからなる層（２）、スペーサー層（３）及び電磁波反射層（６）からなるカラーシフトエフェクト構造体を有するセキュリティエレメント、特に、セキュリティラベルであって、該スペーサー層（３）は、同一又は異なる組成の、互いに上下に位置する二つの部分層（４、５）からなり、その際、第一に、前記クラスター層（２）が面する部分層（４）の該クラスター層に対する粘着力が、第二の部分層（５）に対するその粘着力よりも大きく、そして、第二に、前記電磁波反射層（６）が面する部分層（５）の該電磁波反射層に対する粘着力が、前記第一の部分層（４）の粘着力よりも大きいことを特徴とする、上記のセキュリティエレメントである。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 2】

前記支持基材（１）上に、前記カラーシフトエフェクト構造体の下に、部分的な剥離塗

膜層（１０）が設けられることを特徴とする、請求項１に記載のセキュリティエレメント。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項９

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項９】

前記ポジ又はネガの文字、数字、記号、符号、線、ギロッシュの形態に形成された部分層（４、５）が、操作の前に、異なるカラーシフトエフェクトを引き起こすことを特徴とする、請求項８に記載のセキュリティエレメント。

【誤訳訂正４】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項１４

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項１４】

前記カラーシフトエフェクトに対向する前記支持基材（１）の表面上に、印刷された印刷し易くするプライマー（９）が設けられることを特徴とする、請求項１～１３のいずれか一つに記載のセキュリティエレメント。